



## 新年度が始まりました。各自で目標を設定しましょう!!

新年度も四月の中旬も過ぎ、1年生は新しい学校生活にも慣れてきていると思います。年度初めの行事も引き続きあり、何かと忙しい時期ですが、毎日の授業に対してしっかりと取り組めるよう普段の学校生活の過ごし方を考えていきましょう。

### 自分の進路設計について

#### ○ 自己理解を深めましょう。

自分のやってみたいこと、興味があること、今自分ができることを調べてみましょう。詳しく調べていく中で自分の進路について、理解が深まってきます。

また、自分が将来どのように社会に関わっていきたいか、どのような社会貢献をしたいかを考えてみましょう。最初は抽象的で形にならないかもしれませんが、繰り返し自分の将来を考えることで、少しずつ具体的な形になってきます。将来の職業がイメージできるようになったならば、その職業に就くための方策も見えてきます。1・2年生のうちからじっくりと自分自身を見つめていき、3年生につなげていきましょう。

#### ○ 学力の向上を図ろう。

就職や進学と生徒一人一人の進路希望に違いがあります。内定や合格といった目標を達成するためにも、学力の向上を図っていきましょう。高い学力を保持できるのであれば、就職でも進学でも進路選択の幅が広がっていきます。民間企業に就職するために必要な一般常識等の知識、公務員になるために必要な知識、短大・大学の入試に必要な知識、それぞれに違いがあります。違いを踏まえた上で各自の進路実現に向けて、継続して学力を向上させる努力をしていきましょう。高い目標を設定すれば、当然ながら高い学力が求められます。努力をあきらめて安易な方向へ流れないように自分の意思を確認してください。

#### ○ 高い目標を設定し、それに到達する道筋をつくっていきましょう。

大きな目標を達成するためには、小さな目標の達成の積み重ねが大事です。高校生活の3年間の中では、目標を見失ってしまったり、努力した割には成果が上がらなかったため、やる気を失ったりする場面もありえます。そのようなことが無いように、大きな目標につながる小さな目標を達成することを心がけましょう。達成することで自分に自信が持てますし、自己肯定感や達成感を持つこともやる気を維持する上で大切です。

高い目標に到達するためには、「今自分の目指している大きな目標はどのくらい達成できているか」を言語化や数値化して表現しておくことです。例えば受験用の英単語・熟語を3年生の夏休みまでに3,000語を覚えようとしています。2年生の今の段階で1,500語は理解しています。残りの1,500語をこの半年でどのように覚えていくかといった計画を具体化してみることが目標を達成するためにも必要です。

#### ○ 手帳やカレンダーを活用し、スケジュールの自己管理をはかろう。

手元にある手帳やノートを利用してカレンダーを作成し、1日の行動や週単位・月単位の計画を把握することで時間の使い方が上手になります。朝や帰りのSHRで担任からの連絡事項や配布された行事予定をカレンダーに書き込むだけでなく、週や月ごとに予定を確認し、定期考査に向けての勉強計画や大会に向けてのコンディションづくりを考えてみましょう。

最初はうまくいかないかもしれませんが、何回か繰り返す中で自分にあった勉強計画や調整方法が見つかってきます。担任の連絡事項を聞き、それをメモでまとめる。スケジュール表を確認しながら、時間を調整し自分のやりたいこと、できることを調整していく。こういったことは社会に出れば必要になってくることです。高校生の時からスケジュール表を使い慣れていれば、予定や時間の自己管理も効率よく行うことができます。

## ○ 進路ノートを手頃に活用しよう。

3年生には、学年をお願いして一人1冊ノートを購入してもらっています。この進路ノートを手頃に活用して、自分の考えをしっかりとまとめていきましょう。

ノートにまとめていく内容としては、次のようなものがあげられます。

- ① 企業や学校について調べてきたこと。企業の経営理念、学校の教育理念などで自分が思ったこと、感じたことをまとめる。
- ② 履歴書や志望理由書に書く内容。自分が現在の希望進路を選択したきっかけや今進路実現に向けて努力していること、将来の展望などをまとめること。
- ③ 面接で聞かれることの答え。自分の長所、高校生活、趣味等をまとめること。

大事なことは、ノートにまとめたことを、記録として残しておくこと。安易に消してしまうと、自分が出した答えが、どのような添削や指導を受け、導き出したのかがわからなくなってしまいます。また、残しておくことによって、自分の考え方がどのように変化していったのかをたどることができ、志望理由や将来像などの内容を深める材料にもなります。

## 朝の読書について

担任や副担任の指示がなくても、チャイムが鳴ったならば、すぐに席について静かに読書を始めましょう。友人と話を続けていたり、席を立てて本をロッカーに取りに行ったりするなど周囲に迷惑をかける行動をとらないように各自注意しましょう。10分間という短い時間ですが、心を落ち着けて集中して読書を楽しみましょう。1年間継続して本を読むことで、多くの新しい知識や考えを蓄えることができます。また、読みたい本が見つからない場合は、図書室を利用して探してみましょう。

## 「ふくしま創生人財育成事業」について

本校では、昨年度に引き続き、県教育委員会から「ふくしま創生人財育成事業」の内定を受けました。この事業は、学校の特色に応じて地域との連携を図り、郷土理解を促進しながら、地域の様々な課題を解決するために必要な資質を養うことを目的としています。この事業の予算により、「高校生のためのSDGs推進講座（人文科学・社会科学分野）」や「課題探究力養成講座」等を予定しています。

このような講座と並行して各学年では、「総合的な探究の時間」を活用して、地域探究活動も進めています。講演会や講座等で学んだことを上手に活用して、地域探究の内容を深めていってほしいものです。

地域探究活動では、グループで話し合い、お互いの意見を尊重しながら意見をまとめてあげていく協働性の場面も多くなってきます。有意義な意見交換ができるように自分の考えをまとめていきましょう。また、探究活動の発表の場も設けているので、自分の考えを相手に上手に伝えるための表現力も養いましょう。

進学の際、高校での探究活動の成果を志望理由書等に記載する学校もあります。「ふくしま創生人財育成事業」や地域探究活動を通して、上級学校で研究してみたい分野を見つけましょう。

### 「ふくしま創生人財育成事業」にともなう主な講座・講演会

5月	農林業体験事前講話（1年）	10月	職業観を養うための職業人講話（1年）
5月	職場体験事前講話（2年）	12月	SDGsと地域創生を考える（1年）
6月	親子で考える進学ガイダンス（進学希望者）	2月	地域創生講話（2年）
7月	課題探究力養成講座（全学年）	2月	地域探究活動発表会（1・2年）
9月	高校生のためのSDGs推進講座（全学年）		